

県民公開セミナー申込者の個人情報漏洩事案の発生について

1 要旨

新病院に係る県民公開セミナーについて、運営管理業務の受託者（ホームテレビ映像株式会社）が制作したインターネット上の申込画面において、申込者の情報が漏洩する事案が発生した。

2 事案の概要

(1) 漏洩情報・媒体

- ・受託者が令和8年5月29日の中国新聞朝刊(23面)に掲載したセミナー広告において、誤って管理者用確認二次元コードを添付した。
- ・これにより、セミナーの既申込者86名分の情報（氏名、フリガナ、属性（一般、医療、行政）、年齢区分、住所、電話番号、質問）が、申込画面へアクセスした者から閲覧可能な状態となっていた。（閲覧者数は確認できていない。）
- ・申込者情報の一部には、申込者等の疾病に関する相談内容等が含まれる。
- ・なお、6月2日10時時点において、情報漏洩に伴う二次被害の連絡は県及び受託者において受けていない。引き続き、情報把握に努める。

(2) 原因

- ・受託者において、本来、不要な申込者情報を管理する管理者確認用の画面と紐付いた二次元コードを作成した。
- ・新聞に掲載すべき申込用二次元コードではなく、管理者確認用二次元コードを誤って掲載した。
- ・受託者において、本来実施すべき二次元コード等のテストが未実施であった。
- ・県においても、5月29日掲載の広告について、事前に掲載文を確認していたものの、二次元コードの貼付がなく、未確認であった。

3 経緯

日時	対応状況
5/29（金） 10時頃	・受託者において、申込者からの連絡があり事案を覚知 ・県においても、申込者の指摘を受けた広島市役所を通じて連絡があり事案を覚知し、県から受託者へ状況確認の連絡
11時頃	・受託者において申込画面を閉鎖し、当該二次元コードからアクセス申込を停止
11時40分	・受託者が来庁し、状況を報告 ・県から受託者に対して、対応状況の随時報告とともに、事案発生による被害状況・原因・対応方針を報告するよう指示
17時30分	・受託者が来庁し、被害状況・原因等について報告を受け、申込者に対して電話等による説明・謝罪を指示
18時30分	・申込画面については、県及び受託者が、同様の事象が生じないように修正を確認した上で、申込を再開

4 漏洩発覚後の対応

- 申込画面の閉鎖による申込の一時停止（5月29日（金）18時30分から申込再開）
- 受託者から申込者に対して、電話等による説明・謝罪

5 再発防止策

- 受託者には、詳細な原因究明及び再発防止の報告を求めているところであり、その内容を踏まえて、具体的な再発防止策を検討する。
- 県においても、今後、セミナー等の広報をしていくにあたっては、二次元コード等の申込に係る情報の確実な確認やダブルチェックが必要だと考えており、詳細な原因究明を踏まえ、受託者における個人情報の適切な管理への監督・指導を強化する。